



阿波名所圖會

上





高小守時 名温も 志津う ね  
世に しく 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね  
か けり 温名を けり 志津う ね

天隆寺

天隆寺



かひはくしむくぢう中あもをなぬ  
類と爲く度のちねあふとあま  
言はれぬしなうくつあえ  
こころ梓ふらうと先母と  
そのあふくはれはれはれはれ  
てるうはれはれはれはれはれ  
おんあふくはれはれはれはれ

あふくはれはれはれはれはれ  
あふくはれはれはれはれはれ  
あふくはれはれはれはれはれ  
あふくはれはれはれはれはれ



文化ははつらつと  
あふれ

武者小路實純郷

漱石識

附言

此の河波名所圖會のりて四國行旅せし頃うあつたこと  
風流とては予が志はなせしもの記あるとあつて  
人の書ふよりして持し事すさむべしは勝景とんん  
おのりくけ書と懐かせよ此の南のすまのち勝景一  
る郷守とももきりしや圖と小事の必要を記し  
て文をいもくせすさむし紙のくく速小景のあつ  
とまむしむるを要とす故小四國巡拜の式小致さく河波  
國とあつたむとえとあつた國のほく頃をりつと目  
録あるしぬけきりりれるる古跡並場へ人の何を  
書あつたむとあつたはつ



文化辛未之年中冬

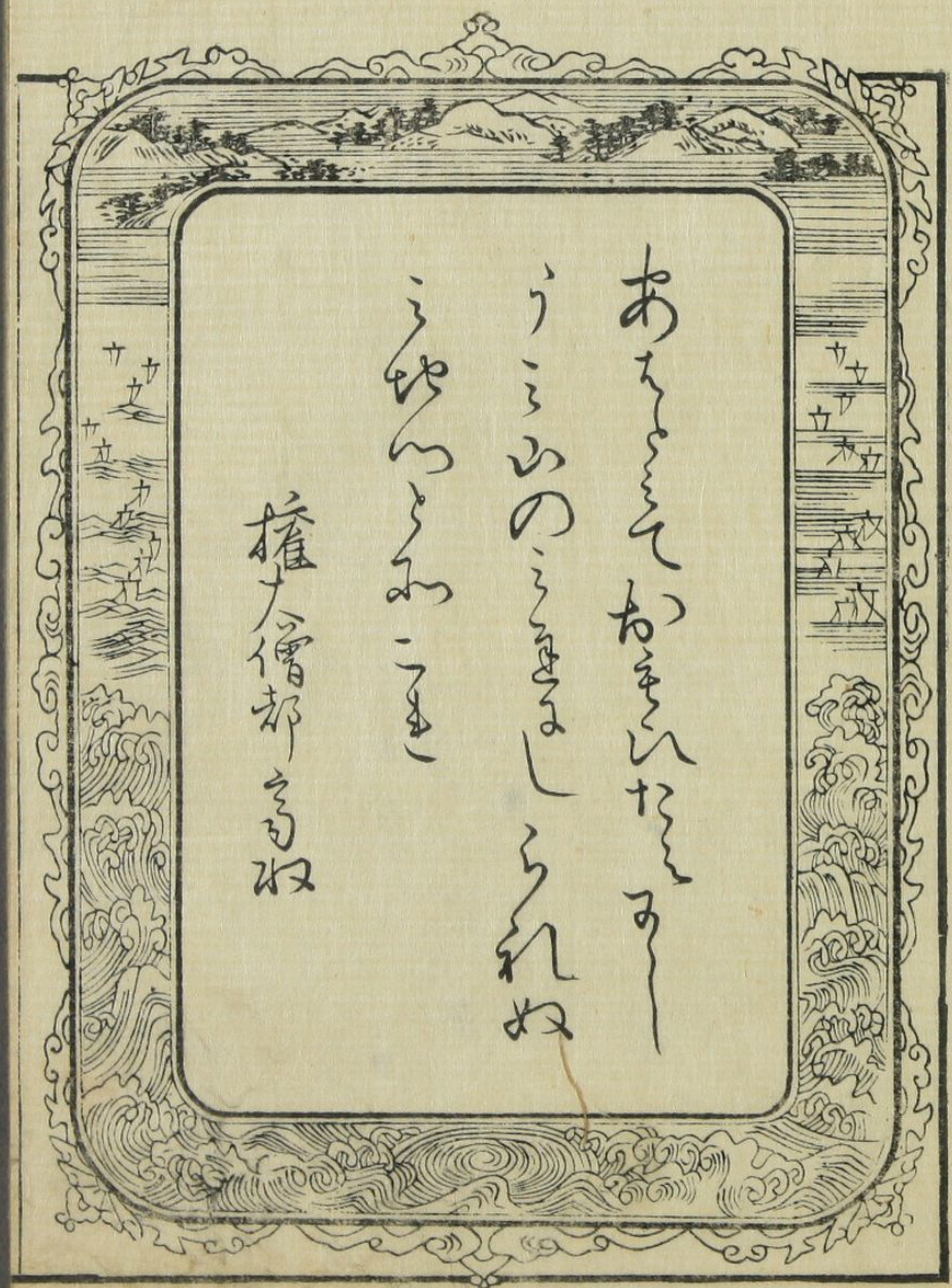
浪美 探古室 墨海 信

阿波名所圖會卷上

目錄

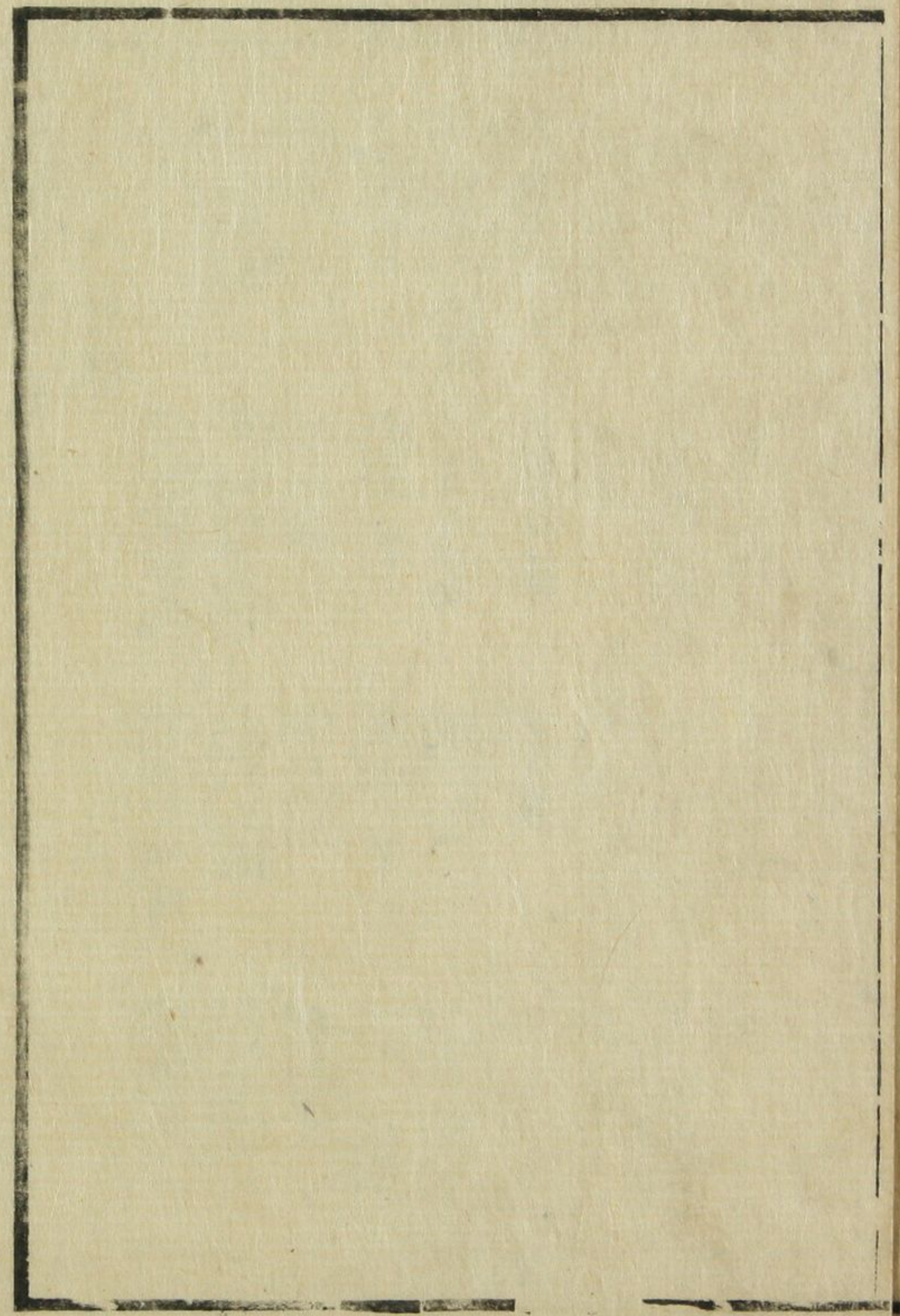
- |                           |                           |                          |                           |
|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 鳴門 <small>なると</small>     | 阿波井神社 <small>あわいの</small> | 里海寺 <small>さとみ</small>   | 磯岸松 <small>いそがし</small>   |
| 人麻呂社 <small>ひとまろ</small>  | 徳少納云塚 <small>とくせう</small> | 本津上浦 <small>ほんつう</small> | 大滝山 <small>おほたき</small>   |
| 藍玉 <small>あいご</small>     | 矢上楠 <small>やのうえ</small>   | 櫻る池 <small>さくら</small>   | 升古寺 <small>のぼり</small>    |
| 観音寺 <small>くわんおん</small>  | 國分寺 <small>くにぶん</small>   | 為樂寺 <small>たのり</small>   | 一宮花菰院 <small>いちみや</small> |
| 焼山寺 <small>やきやま</small>   | <small>右唐門三脚 墓印の枚</small> | 柳の島 <small>やなぎ</small>   | 十里十箇所 <small>とりの</small>  |
| 大森山神社 <small>おほもり</small> | 五百羅漢 <small>ごひゃく</small>  | 筆塚 <small>ふで</small>     | 鏡松 <small>かがみ</small>     |
| 公兼田 <small>こうかね</small>   | 午測 <small>ひまをはさ</small>   | 牛測 <small>うしをはさ</small>  | 雲邊寺 <small>くも</small>     |
| 新戸 <small>あたら</small>     | 高越山神社 <small>たかこ</small>  | 種徳山神社 <small>たね</small>  | 徳谷菰橋 <small>とく</small>    |
| 徳谷獨木橋 <small>とく</small>   | 琵琶滝 <small>びば</small>     | 劔山神社 <small>つるぎ</small>  | 鳥滝 <small>とり</small>      |
| 土竈 <small>とが</small>      | 峰巢 <small>たけ</small>      | 岩津 <small>いわ</small>     | 芳野川 <small>よし</small>     |





あまのこ  
うららの  
こころ

権大僧都高叔









門 何波洗滌の境より何波り國板壁板養浦より門の邊七八丁  
 大浦より海なる所も中國の浦より干る波も海干るともは門の浦ま  
 ちバ波のともなふ事矢うおとく多分つらと事盤石の船倒ふたとんもさ  
 らありこれバあふ何ととも風帆も門を渡すつらと門の浦の波地  
 あり洗滌浦の波の巖つらとてんもさな波浦とともたゞより三浦の左に  
 海三浦の底とあるは門干波り時二方のありて一方あり波も水濱の如く  
 浦波の特大浦より波もつらとてんもさな波浦とともたゞより三浦の左に  
 あるともさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 ひつらとてんもさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 の波り浦干ぶつらとてんもさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 一は波もさつらとてんもさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 洋よりあるは板壁の里ふ人林の法とはお初なる坂と事存もあ人の元へあるは

地より何波り門の邊七八丁  
 大浦より海なる所も中國の浦より干る波も海干るともは門の浦ま  
 ちバ波のともなふ事矢うおとく多分つらと事盤石の船倒ふたとんもさ  
 らありこれバあふ何ととも風帆も門を渡すつらと門の浦の波地  
 あり洗滌浦の波の巖つらとてんもさな波浦とともたゞより三浦の左に  
 海三浦の底とあるは門干波り時二方のありて一方あり波も水濱の如く  
 浦波の特大浦より波もつらとてんもさな波浦とともたゞより三浦の左に  
 あるともさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 ひつらとてんもさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 の波り浦干ぶつらとてんもさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 一は波もさつらとてんもさくさつりたる白浪小波日影るつらと後景をみるはつらとてんもさ  
 洋よりあるは板壁の里ふ人林の法とはお初なる坂と事存もあ人の元へあるは

鳴門海氣射天新 潮汐震驚百里濱  
 乘木有功風雨後 嶋顛出没報舟人  
 泉州 横塘則  
 波 浪  
 同 同 同 同  
 同 同 同 同  
 同 同 同 同  
 同 同 同 同  
 同 同 同 同





あろ  
よはきく  
ま方長

清の酒の味

酒

毛和布  
はれ  
おま



磯崎

磯崎の磯崎の  
聖ふあり

まろり

まろり  
聖のほろ

おろり  
磯崎の

あはは

聖  
田二

浦風ふ

あはは  
聖のほろ  
たろり  
まろり

磯崎

磯崎

〇  
八

あろり  
聖の





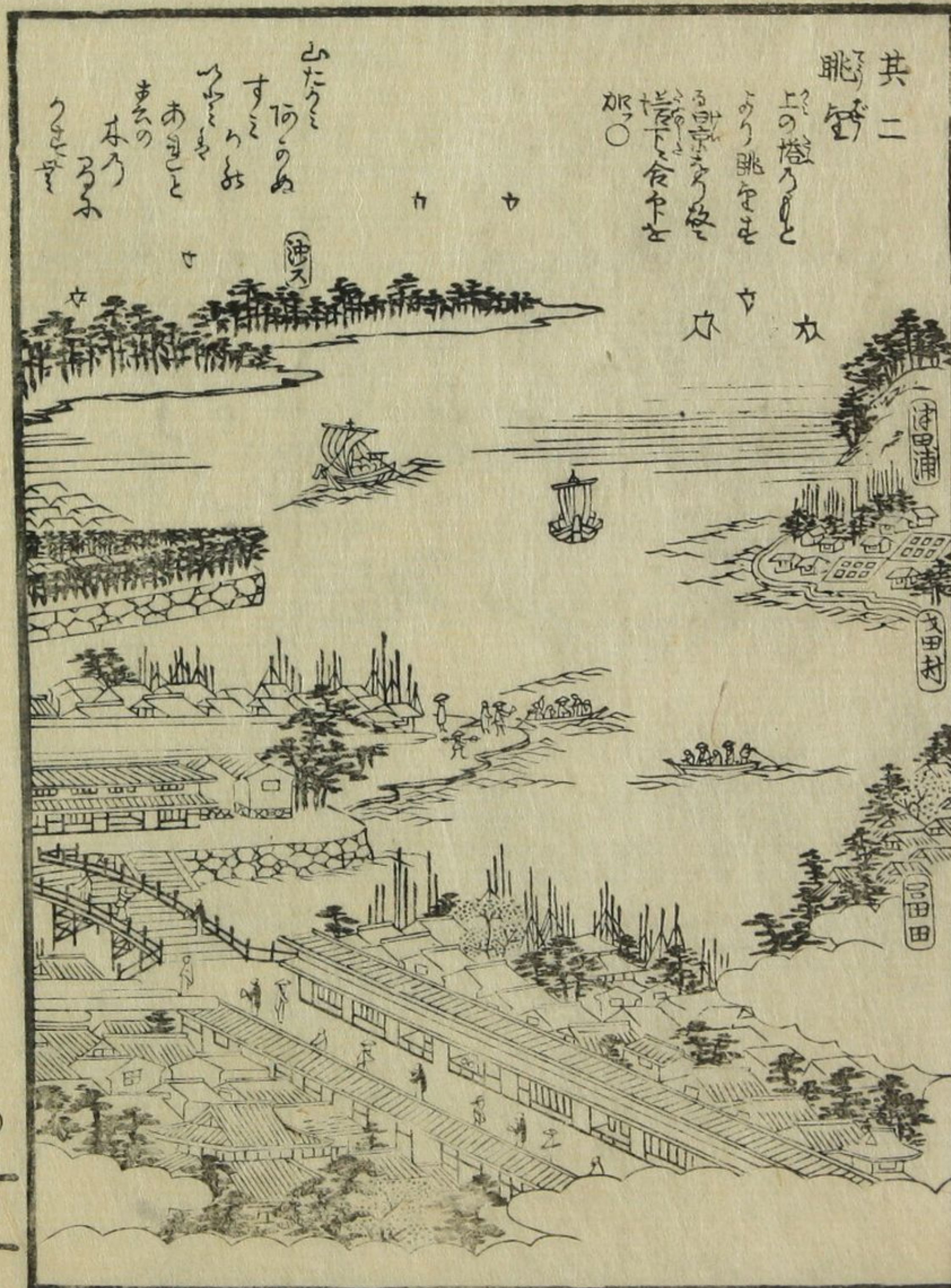
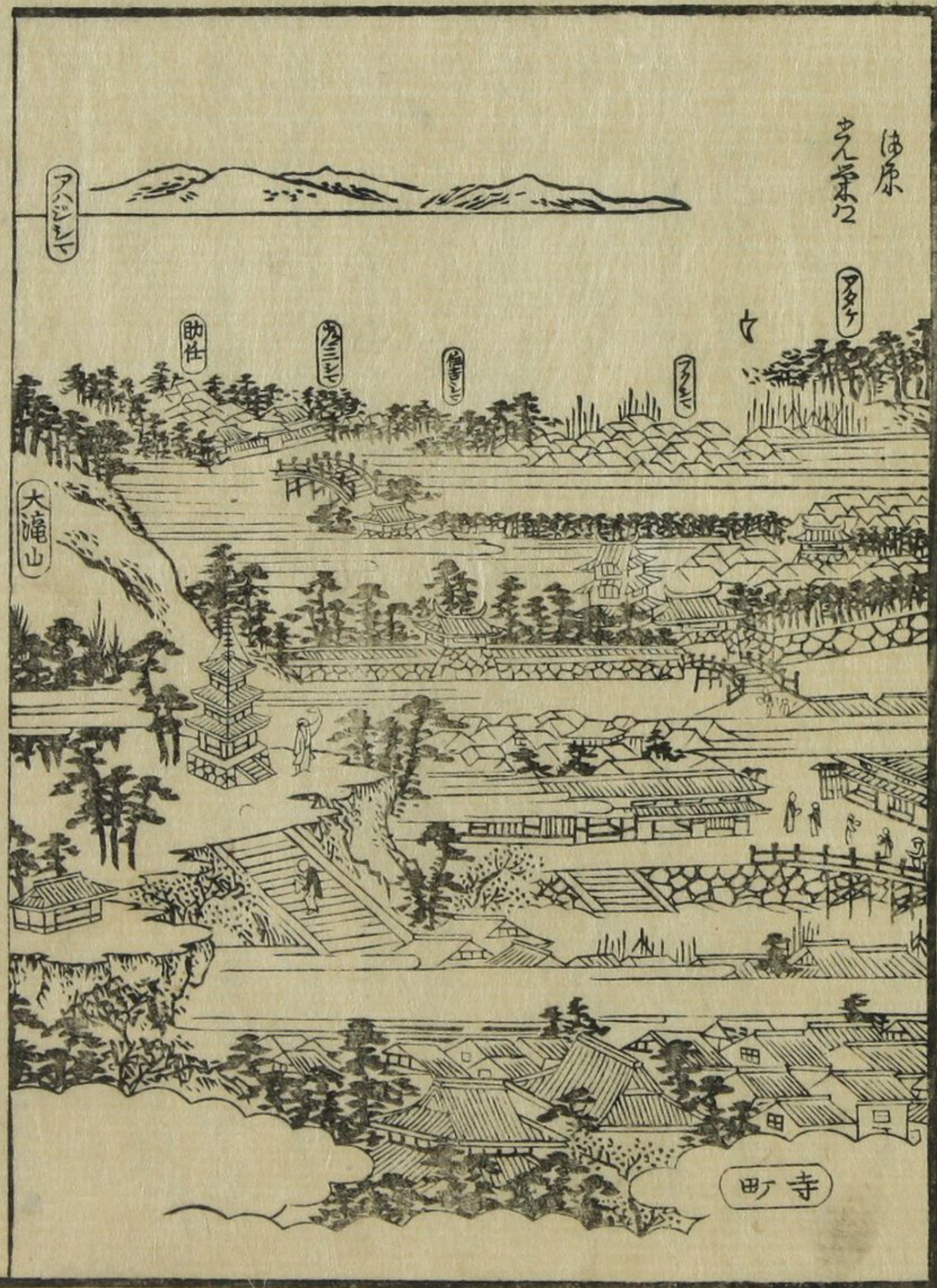
本津上浦 板壁余  
 ありむつしり湖邊  
 かく清景の地と云  
 へし今をいへば  
 本津上浦の景  
 長谷寺あり毎  
 十月十日の祭事  
 小の遊戯あり相  
 儀ありありと  
 ありす  
 本津上浦  
 うらやみ  
 ありはる  
 あり  
 あり





○十





















涼しきや  
 木の影  
 浪花  
 龜確



楠のとき矢

板野矢と村  
 小あり  
 太さ十五圍





五百羅漢  
 月のほろろ  
 雁渡果乃  
 とよとよ  
 あこを  
 おりひ  
 くれハ  
 糸ハ  
 何手まで  
 ゆてのり  
 まきの  
 旅  
 浪花  
 幸哉



五百羅漢  
 板の神天武村あり  
 別ありの蔵院地  
 多き寺あり弘法  
 大砂の遠跡ありて  
 一軒寺ありは  
 街のあり羅漢  
 原とてありある  
 去る宝曆の比より  
 我主ありて極伝  
 を十方よりとらん  
 日ありすて後  
 大の精舎と創建  
 せり  
 ほどふる塚  
 とて古跡あり





鳴滝 長き幅ありは滝  
 三層ありてその下二十餘丹  
 其下の段に上流とて中流を流  
 あり下流を流す風の起りて  
 まは川下ニテ秋老洞の如く大  
 三層をりある橋あり





んれん 雲々  
 きのすも ねんれ  
 くの けい  
 権大信院を取



い  
 や  
 谷の  
 たる  
 橋



